



ともに生きる人間のまち…みほ

社協だより

第7号

平成3年3月15日
(年2回)

編集 発行
社会福祉法人
美浦村社会福祉協議会
老人福祉センター内
☎ 85-0038



美浦村農林漁業者トレーニングセンター豆剣士たち

子供は親を選べない
親も子供を選べない
そのかけがえのない
喜びと悲しみの中で
親は子を抱き直し
子は親を抱き直す

石川
洋

平成 2 年度愛の募金内訳

行政 区	赤い羽根募金	歳末募金	行政 区	赤い羽根募金	歳末募金
浜	30,000	32,000	谷 中	7,500	7,000
登 宿	30,500	30,500	山 内	10,500	10,500
山 戸	16,000	16,000	井 田	20,800	21,000
田 中	20,500	22,000	根 火	18,000	18,000
上 宿	18,000	24,500	牛 込	14,500	14,500
後 宿	16,000	16,000	木	8,500	8,500
郷 中	52,000	52,500	定 光	8,500	8,500
受 領	53,000	51,000	本 橋	17,500	17,500
大 須 賀 津	46,500	46,500	間 野	7,000	7,000
茂 呂	10,500	10,500	土 浦	37,000	37,000
宮 地	14,000	14,000	端 山	10,000	9,500
余 郷	18,000	18,000	馬 見 山	9,000	8,500
石 灘	85,500	85,500	大 山 東 部	51,000	50,000
谷 津、根 古 屋			美 駒 A 1	35,500	38,000
須 賀	26,500	26,500	A 2	46,000	41,000
仲 妻	8,500	8,500	A 3	20,700	17,500
給 分	20,500	24,500	A 4	45,275	39,565
南 原	24,000	24,500	A 5	42,610	39,950
興 津	46,000	46,000	A 6	52,000	50,900
布 佐	34,000	34,500	A 7	32,400	40,000
台	18,500	18,000	A 8	53,400	47,000
土 屋	116,300	117,500	B 8	53,860	51,000
馬 掛	21,000	21,000	A 9	44,500	40,000
上 舟	78,800	81,500	B	28,000	27,500
下 舟	103,000	102,000	C	22,500	22,000
山 王	7,500	7,500	D	12,500	10,500
大 塚	14,000	14,000	E	56,500	56,500
小 計	929,100	945,000	小 計	765,545	738,915
			合 計	1,694,645	1,683,915

本会の財源は、一戸当り五百円の会費と、企業、団体、個人、そして村内に勤務する学校の先生方をはじめとし、役場のみなさんなどの御協力により、善意の御寄贈をいただいております。

本会は、各種事業との関連

で、寄付者の特に指定のない限り、随時、各事業配分をいたしております。

今年度は、別掲のように処理させていただきます。誌上より感謝の意を表し報告させていただきます。

特別協力団体等関係募金内訳

赤い羽根募金		歳末たすけあい募金	
団体等名称	金額	団体等名称	金額
美浦村ボランティア街頭募金	39,868	元信太大師講	20,000
ミホコー(株)	11,635	ファミリーマート神田舟子店	10,506
立正佼成会美浦支部	50,000	ポニーヤングショップ	9,500
常陽銀行美浦支店	51,100	大谷保育所	7,815
高橋工務店	10,000	医 名	2,387
丸善パチンコ	50,000	合 計	50,208
宮 前 八 郎	10,000		
美浦中学校	66,000		
村民ゴルフ大会チャリティ募金	96,086		
環境県民集会	2,291		
瀬尾善次郎	3,000		
村老人クラブクローケー部役員	1,500		
村ボランティア	2,460		
木原小学校	20,000		
明治屋酒店	10,000		
高橋工務店	10,000		
美浦村商工会青婦人部	40,901		
宮 崎 茂	1,000		
民生委員一同	40,000		
役場職域募金	30,492		
合 計	546,333		

●赤い羽根募金(地域) 1,694,645円
(個人)(団体) 546,333円
合 計 2,240,978円

●歳末募金(地域)
(団体) 50,208円
合 計 1,734,123円

赤い羽根募金目標突破!!
三三三〇、九七八円

愛の福祉、善意金のご報告

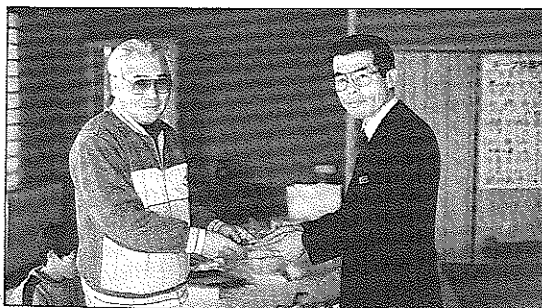
平成2年度社会福祉基金受け入れ名簿

やまゆり基金			善意銀行		
月日	氏名	金額	月日	氏名	金額
5.16	区長会	94,000	5.1	西塚 幸子	1,600
8.20	美浦歌謡連盟	100,000	8	本橋 浩	1,070
9.3	萩田由紀子	50,000	16	酒井 弘	197
12.7	中島 健一	50,000	30	宮本珠算	2,860
12.28	県南労 山本三郎	50,000	6.5	美駒盆栽 仲田光剛	19,600
3.1.11	チャリティゴルフ	339,000	7.10	椎名 卓郎	1,781
1.18	奥平厩舎	500,000	8.1	(有)トータルサービス	20,000
2.5	信用金庫チャリティ	112,033	28	よい映画を見る会	72,900
2.5	常陽新聞社文化厚生事業団	100,000	9.21	日本テキサスインスツルメンツ	149,520
			21	増尾四郎平	50,000
			21	美浦歌謡連盟	100,000
			11.16	長峯 巖	5,000
			29	美浦婦人会バザー	33,000
			12.28	声の出る募金箱	65,778
			3.2.1	大谷小学校	20,000
			15	山内山王、八井田老人クラブ	20,000
	計	1,395,033		計	563,306

皆様方の善意に感謝申し上げます。
今後ともよろしくお願ひします。

その一 美浦トレーニングセンター内、奥平厩舎一同として、三年続いでことしも五十万円を寄贈して下さいました。

その二 美浦中学校がボランティア普及指定校となつて二年目、各種福祉活動をしているが、本年も校内チャリティバザーの益金六万六千円を、また、木原小学校児童の善意として二万円を福祉に使つてほしい



と寄付されました。

その三 村の協力により開催されている恒例の村民チャリティゴルフ大会は、ベナルティ募金を合せて四十三万五千八十六円を贈つて下さいました。

その四 土浦市内にある常陽新聞社文化事業団より、近隣市町村社協に対し、新聞社に寄せられた歳末募金の一部、十万円を配分していただきました。

その五 土浦信用金庫美浦支店がこのほど開設、開店記念チャリティ募金を実施、この益金一万三百三円を寄付していただきました。

愛の募金箱受け入れ一覧表

平成 2 年 12 月 27 日

設置場所	金額
稲敷農協安中支所	3,041
いしばし商店	1,178
本橋商店	1,494
小沢石油店	9,331
常陽銀行美浦支店	24,809
美浦中央病院	4,204
柳堀石油店	4,739
美浦村農協	4,758
美浦村中央公民館	1,607
沼崎酒店	4,107
美浦村役場窓口	3,855
鈴木商店谷津給油所	2,655
合計	65,778

やまゆり基金

目標額1,000万円達成!!

村民のみなさんが会員となり、その会費（一戸当り五〇〇円）により運営される本会の財政基盤には非常に厳しいものがあります。

そこで始められたのが「やまゆり基金」。五年間に一千万円を積立とし、その利息を社協の財源とし、社協活動の強化を図ろうとし、各団体、あるいは篤志家のご協力をいただき運動をして参りました。

今年が最終年度目標達成のみなさんの五十万円の寄贈

金で、一千十一万円となりました。

このお金は、全くみなさんの善意の集約であります。

あらためて誌上をお借りしてご報告と御礼を申しあげます。

今後この基金はさらに継続とし、社協財政基盤の強化を図ろうとすることで、一月の役員会で決まりました。

さらに、二千万円の目標が設定されました。ひきつづいてご協力されるようお願いいたします。

街頭募金は



私達で

恒例となった、村文化祭初日に、中央公民館入口に立ち来場される村民みなさんにお願ひして来た街頭募金。

入場してくる人達に、「共同募金、歳末募金をお願いします」と声をかけるが、迷惑な行為をしているのかと、時折悩むことがある。

「いたただくこと」「出すこと」立場の相異はあるが、難しいものである。

この街頭募金は、中央競馬会が本村に移転されて、一緒に来られた美駒地区に居住さ

れる、ボランティアグループが運動されたのが元祖である。いまでも、この人達は自信と誇りをもって、先頭に立って頑張り続けている。自分の利益でないと十分知っていても、他人に喜捨をいたゞくことは低抗があるものだ。世の中がよくなり、人の幸福がこの行為によって支えられるという確信を持って活動している人達である。

平成二年度は村民の善意は三万九千八百六十八円となりました。

平成2年度歳末たすけあい配分結果表

平成2年12月14日

配分対象者	世帯(人員)	金額	備考
生活保護世帯	13世帯		1世帯 12,000円
	27人	184,000円	1人増 2,000円
要援護世帯	16世帯		
	37人	236,000円	同上
ひとりぐらし老人	44人	132,000円	1人 3,000円
寝たきり見舞金	34人	170,000円	1人 5,000円
老人寝衣(現物)	34人	102,000円	1衣 3,000円
身体障害者 (重度、手帳一級)			
内訳 視覚 19人	43人	215,000円	1人 5,000円
肢体 13人			
内部 19人			
精薄 3人			
福祉施設入所者	18人	54,000円	1人 3,000円
見舞品	15	30,000円	
施設等見舞金	1ヶ所	35,000円	1ヶ所 10,000円
ホープ作業所	5人		1人 5,000円
まごころ荘	1ヶ所	30,000円	1ヶ所 10,000円 1人 5,000円
県立養護学校	1ヶ所	10,000円	
おせち料理	50人	150,000円	
地域福祉費		335,318円	
その他		50,805円	慰問雑費
合計		1,734,123円	

歳末慰問配分

全戸加入の募金(一戸当り五百円)並びに、一般募金(別掲報告)を、左記のように配分いたしましたので御報告いたします。
ありがとうございます。

51世帯分の

おせち料理を

作りました



見事に並んだおせち料理は、浜地区公民館座敷一杯に並べられ、赤・白・緑と多彩な色どりの料理が、小さなお重の中で綺麗に並んでいる。
歳末募金の中からボランティアの皆さんによって作られた五十一個のおせち料理。
村民の善意は、役場と社協職員によって、地区民生委員へ移送され、民生委員さんが、あらためて、ひとりぐらし老人の安否を確認しながらお届けいたしました。

三世代ふれあい事業 歩け歩け大会

みるみるうちに黒のビニールの大袋に空缶がふくれあがるといっても過言ではないほど、まだ、供用開始になっていない一・二五号国道バイパスの布佐——舟子地区にかけての路端に捨てられている飲料用の空缶に驚く。

むしろ子供達が、あり余る缶を拾うために先を争うような形となったため、老人クラブ会員や、父兄たちが制するために一汗をかいたという風景がみられる。

この事業にあわせ、環境浄化としての老人クラブの社会奉仕運動をからませ、なお、地域の歴史も知ってもらおうと内容を充実した。

安中、木原、大谷と小学校を単位とした三地区に参加した人達は八〇〇余名。年々、参加する人が増えている。特に小学生の参加が多くなってきたことは喜ばしい限りである。

二十一世紀の長寿社会を直接に担うことになる子ども達の理解と援助は絶対的なものになるからである。



敬老会を盛大に

平成二年九月に発表した、村の長寿者番付の、東西の横綱が敬老会に出席、代表として村長からお祝いの花束を贈呈された。

満場の公民館の五五〇余名の仲間達が見守るなかで、お二人の姿は、百歳に届く人とは思えないほど元気で足取りもしっかりしている。

敬老者一人ひとりの方々も、あの人達以上の長寿を願ったことに違いないと思う。



できき

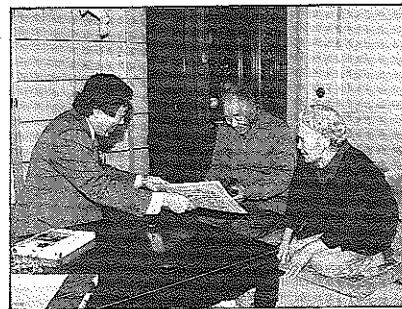
平成2年度金婚式該当者 昭和15年4月1日～16年3月31日

氏名	婚姻年月日	住所
堀越 四郎	S.16. 3.28	木原570
坪井 茂	S.15. 3.29	木原565
飯塚浩一郎	S.15. 12.24	山内716
小室山 弘	S.15. 12.11	木原532
下村 浅吉	S.15. 12.3	本橋7
榎本勇之助	S.16. 3.18	上浦 2020～1
大竹 藤嗣	S.14. 12.7	大山 1990～3
阪沢春次郎	S.15. 12.20	大山2331
宮本 清	S.15. 9.2	信太2114
稲毛 忠雄	S.15. 12.13	大谷 1442～2
飛越 喜義	S.15. 10.31	土屋 1979～88
俵 寛	S.15. 9.4	八井田 506
宇津木三郎	S.15. 12.27	大須賀津 270

長寿の宝

昨年比し、敬老に達した人達が一〇〇人を超えました。人間が長命であることは最高のしあわせ。ボケないよう、あるいは寝たきりにならないよう老後のしあわせを求め、老人みずからの努力をお願いしたいものである。

孫達のせつに思うお年寄りのいたわりの福祉作文の発表に耳を傾け、視聴覚メンバのあやつる、きらびやかな舞台光線に映え出されたお芝居や、踊りに興じ、楽しい敬老の一日を過しました。



平成二年度の金婚を迎えられた御夫婦は十三組(別表)お互いの節制と、信頼が、結婚五十年の生活の背景にある。

市川村長が各家庭を訪問、代表してのお祝いを申しあげた。長寿社会になったとは云え、五十年の御夫婦は本村でも数少ない。村民のお手本として、幸福な生活であられるようお祈りしたい。

障害者と共に暮らそう ホープ作業所へどうぞぞ!!

広報「みほ」十一月号で紹介いただきましたホープ作業所。心身に障害を持ち、社会的職業の自立のできない人達ですが、今日も一生懸命に生きようと、福祉センターに通って来ています。障害のために手先の器用さまで失われても、ローソクの箱詰めをしていく姿に思わず手伝ってあげよう。それが、彼らの収入の一部になるならなおさらのことと思いをよせることが、健康者のおもいやりの心というものだろうか。

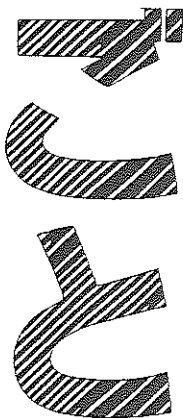


朝のあいさつ	9:30	健康の確認
作業はじめ	9:40	
休憩	10:40	お茶
お昼	12:00	おべんとう
作業はじめ	1:00	
お休み	2:00	お茶
お楽しみ	2:20	体操、ゲーム
作業はじめ	2:50	
作業おわり	3:50	かたづけ、掃除
終りのあいさつ	4:00	帰宅

—◇毎週月曜日から金曜日まで◇—

「ともに生きる人間のまちなみほ」の具現のためにもホープ作業所は多くの村民の皆様をお待ちしております。お気軽におでかけ下さい。◇ホープ作業所の日課

十月から開所したこの作業所。内職作業だけに、賃金は微々たるものである。十一月からは、村内のボランティアの方々の参加により、作業所も明るさを増した。作業台をはさんで、地域のなかで、人々との心の交流が生じました。障害者は心の友になってくれる人を待っているようです。それは、ボランティアの方々が来ると彼らは生き生きとするからです。平成三年度からは十名ほどの障害者が、通所する予定です。



ホープ作業所 クリスマスパーティー

障害者の人達みんなで折った紙フラワーと、五色のテープをはりめぐらした、福祉センターの大広間は華やかな気分となった。

「うす」で搦いた真っ白なおもちが運び込まれる。例年のように江戸崎に通っている仲間達も今日は特別に出席している。

生きがいを高めて メなわ販売!!

二年目となった、ことしのしめなわや、お飾りはだんだんと買録がでて来た。

六十名近い、生産クラブ(部長宇津木忠三郎)会員の、一年を通した汗の結晶の製品を、村内に原価で頒布をした。

注文数も昨年の三倍に及び会員の老後に生きる、橋頭ほが地域に根ざしたとも云える。

平成2年度 事業報告

賑やかに



ことしはボランティアの皆さんも、いつもより多く、朝から何かと手伝ってくれている。

一年に一回のパーティーは、みんなの心の中にも定着したようだ。センターに通いながら、作業に、村人との交流に

正月用の、しめなわ作りから地域における連帯感が生まれ、会員の生きがいの一つの手段となるようお願いしたいものである。

製品も、さらに努力をいただし、すばらしいものになるよう成果を期待したいものである。

気兼ねなく送れることは、どれだけ障害者の心を支えられているのだろうか。「楽しかった」との仲間の一人の言葉に、善意の支えが感じられる一日だった。



表彰

県関係

十月三十日、つくば市「ノバホール」会場の第四十回県社会福祉大会で、永年福祉のよき理解者として、奉仕活動を続けて来た次の方が表彰をうけました。

◇尾島幸男氏 木原四六一

村視聴覚振興会のリーダーとして敬老会をはじめ、村中央公民館で実施する数々の行事の舞台照明、演出に奉仕した功績。

◇左近政子氏 美駒A29—306

本村ボランティア活動の基盤となるべく活躍を高く評価されたため。

◇久田喜一氏 大谷一六二三
本会の理事として、長年の活動と、財源確保に寄与するなど、その顕著な功績。

◇橋本一夫氏 布佐一一二四
本会心配ごと相談所相談員とし長年の努力をした。

◇戸ノ岡秀子氏 舟子九三九
社協職員として十五年余の永年勤続。

郡関係

平成二年十月六日、河内村環境改善センターにおいて、

稲敷郡社会福祉大会と併せて民生委員、児童委員大会が、関係者多数出席のなかで開催。本村では次の方が表彰などをうけました。

表彰関係

鈴木晶子氏 美駒A4—106206

浅野久子氏 " A16—106206

このお二人は、ボランティア

アとして美駒地区の老人会の援助並びに村内ボランティア活動に率先して参加の功績

◇増尾正義氏 大谷一四六九
本会理事としての長年の活躍。

感謝状

◇奥平厩舎一同 美駒2500

昭和六十四年、平成元年と二年に亘って、五十万円ずつ社協活動に寄贈された厩舎全員の善意。



お知らせ

家庭奉仕員増員

長寿社会が進むなかで、村内に生活するひとりぐらし老人、ねたきり老人、あるいは重度身体障害者の方が、在宅で安心して暮らせるようにと村の福祉充実の一環として、家庭奉仕員が、四月より一名増員となります。

この制度を利用したい方は、村役場又は、社協まで申し出て下さい。

寝たきり老人に紙おむつを

寝たきりとなり、介助の生活をしている人々が本村には三十余名生活をしております。とりわけ、この人達の中でおむつの使用者が約十名ほどおります。

本人は勿論のこと、介護する家族も大変なご苦労をされています。せめてのお手伝いとして、使用される紙おむつの共同購入並びに一部購入費の補助をしております。

やむを得ず紙おむつ使用となった場合は、遠慮なく活用していただくようお願いいたします。

心配ごと相談所から

心配ごと相談所は村民の皆様方のなんでも相談をうけております。悩み事をお話するだけでも結構です。遠慮なくおいで下さい。

◇相談日は毎月一日と十五日
◇法律相談は村広報にてお知らせしております。

あとがき

春が来た。

梅もあちこちで咲いた。遙か遠くの湾岸戦争も終り世界に大きな春がくる。人のしあわせは、お互いの助けあいによって生まれる。

地域の福祉は、人々のふれあいによって満たされると云っても過言ではない。

このふれあいを、平成三年度にはさらに充実しようと努力したい。

なお、本号の発刊の遅れをお詫びいたします。

(事務局)